

くすのきまさながしせきこうえん

6. 楠正長史跡公園



◆所在地

生野区巽南4丁目2番

◆概要

巽南の地は、もと河内国洪川郡四条村といい、この一画はその氏神、天神社のあった所である。楠正長は、南北朝時代の武将、楠正成の孫にあたる人物であり、文中元年(1372年)春、隣村の正覚寺村に生まれた。応永19年(1412年)桑原寺の近くにあった天神社に隠棲し、その祭祀を掌ったとされる。楠正長旧跡記念碑のある一帯が天神社で「遠宮さん」と呼ばれていた。当時は、広大な森や池、高い山もあったとされ、ここに正長が住居を構えていたといわれている。現在では、クスノキの大木と正長の記念碑が残るのみとなっている。

ひらのがわ しせんできけいかん

7. 平野川の自然的景観



◆所在地

生野区巽南5丁目14、18、19番地先

◆概要

かつての平野川(旧平野川)は、生野区「俊徳橋」の北辺りから東成区の「中本橋」辺りまでをきわめて曲折して流れていたため、しばしば氾濫の元になった。そこで流れを変えるため、大正12年(1923年)にいまの平野川(新平野川)のように直線に改修された。いまの平野川の延長は、大和川分派点~第2寝屋川合流地点まで、17.375mあり、平野川は、奈良朝より平安朝にかけて百済郡くだらごおりが置かれ、その中央を流っていたので古くは百済川くだらと呼ばれていた。

平野川大橋から両国橋付近は、自然な川の流れやカルガモなどが見られる。

つるはししょうてんがい

8. 鶴橋商店街



◆所在地

生野区鶴橋2丁目

◆概要

鶴橋2丁目にある鶴橋本通商店街は、鶴橋本通商店会、鶴橋本通鶴商会、鶴橋本通鶴進会の3つからなる商店街で、近鉄鶴橋駅東口の近くにあり、鶴橋卸売市場(鮮魚、乾物、青果等)と接している。

鶴橋本通り沿いに、グルメや衣料、小物などの店が数十件並び、市内のみならず市外からも多くの人々が訪れ、賑わっている。

すいがん ぼしよ しょうとくひ
9. 翠岩さん墓所と頌徳碑



◆所在地

生野区中川東2丁目7番28号

◆概要

約300年前、旧中川村に生まれ地域の福祉増進などに私財を投じた住吉屋太郎右衛門の墓である。住吉屋太郎右衛門は、後に、剃髪し翠岩と号したが生来慈善心に富み、公共心が強く、近郷の橋11カ所の架設や道路修理、社寺への寄金、村民への施米資金の寄付等、多くの功績が残されている。当時、寄付された土地は現在も中川町財産区として管理運営されており、福祉や地域振興に恩恵を与え続けている。墓石の入り口には、翠岩さんが架けた石橋の一部が記念石として置かれ、遺徳が偲ばれている。

げん が はしおんせん
10. 源ヶ橋温泉



◆所在地

生野区林寺1丁目5番33号

◆概要

昭和10年(1935年)ごろ建てられ、平成10年(1998年)年10月に国の文化財(登録有形文化財)に指定された。平面は番台を挟んで男女別に区画され、浴槽部分は随時改修されているが、脱衣場及び浴室の構えは良く残っている。外観は、屋根は茶褐色の棧瓦を葺き、入浴(ニューヨークとかけた)自由の女神像がある。正面2階には彫像付きの洋風窓や丸窓を開く。市街地における木造の公衆浴場の好例で、広く利用されている。登録有形文化財の登録基準としては、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」とであるとされる。



11. 鶴橋地域に残る旧家の家並み



◆所在地

生野区桃谷 2 丁目 10、11、15、16、17 番

◆概要

桑津街道は、上町台地の細工谷を起点とし、東住吉区の桑津天神社に至る街道である。仁徳天皇が高津宮から、桑津に住む妃髪長媛のもとに通ったとされる。この街道は旧木野村（現在の桃谷 2 丁目周辺）の集落も通っており、この辺には旧家の家並みが残っている。



12. 彌榮神社



◆所在地

生野区桃谷 2 丁目 16 番 22 号

◆概要

旧記には、神祖素戔鳴命を文禄年間に熊野巫神社（旧出雲国意宇郡）より分霊奉還したのがはじまりとある。その当時は、牛頭天王社と呼ばれ、創立以来旧木野村の鎮守として崇敬厚く宮座を設けて奉仕し、明治 5 年（1872 年）村社に列せられ、社号もこの時に彌榮神社と改められた。明治 43 年（1910 年）、氏子協議のうえ大字岡村（現在勝山北 4 丁目）の御館神社を合祀した。その御館神社は、生土神でいばらの神と呼ばれ、仁徳天皇の的殿の旧跡で、現在は彌榮神社の御旅所となっている。

